Echika fit 東京(丸ノ内線東京駅) 地下街等防災推進計画

令和7年 10月

東京地下鉄株式会社

1. 地下街等の名称、位置、区域及び面積

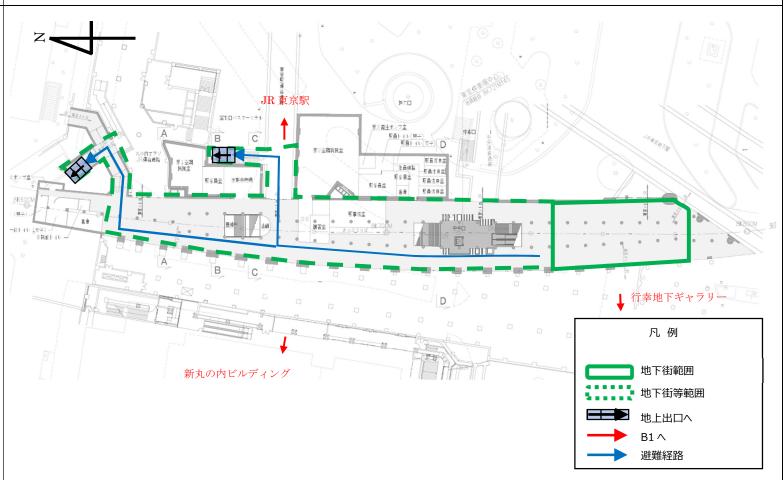
地下街等の名称

Echika fit 東京 (丸の内線東京駅)・丸の内ビルディングの一部・新丸の内ビルディングの一部

地下街等の位置

東京都千代田区丸の内一丁目 6-5・丸の内二丁目 4-1・丸の内一丁目 5-1

地下街等の区域



2. 地下街管理会社の代表者

東京地下鉄株式会社 代表取締役社長 小坂 彰洋

3. 防災管理責任者及び管理体制 防災管理責任者 後楽園駅務管区長 管理体制 後楽園駅務管区長 自衛水防統括管理者 自衛水防隊の編成基準 自衛水防隊長 東京地域区長 東京駅 自衛水防副隊長 首席助役又は当務助役 人数 総括·情報班 $1 \times$ 昼 避難誘導・救護班 5 間 警戒活動班 4 合計 10※名 総括·情報班 $1 \times$ 避難誘導・救護班 5 夜 間 警戒活動班 合計 8※名 *管区内からの応援者は、避難誘導班、救護班に割当てるものとする。 *人数欄の※は兼務者を含んだ表記とする

4.	4. 地下街防災推進事業において行われる補助対象事業		
	1) 避難検討	・地下街の大災害時の避難シミュレーション	
		・施設の状況把握、避難シミュレーション、誘導方策の検討を実施する。	
5.	補助対象事業の計画	対象事業の計画期間、概算事業費	
	1)補助対象事	令和6年度 避難シミュレーション	
	業の計画期		
	間		
	2)補助対象事	・避難検討【4百万円】	
	業の概算事	R 6 避難シミュレーション 4 百万円	
	業費		
6.	関連事業		
		東京都地下街等浸水対策協議会(事務局:東京都 都市整備局)	
7.	7. 避難誘導計画		
	〇災害等緊急を	1 避難誘導の原則	
	要する事態が	・浸水時または浸水が予想される場合には、地下施設利用者の避難を最優先に行う。	
	発生した場合	·Echika fit 東京(丸ノ内線東京駅)では、丸の内地区部会が定める避難誘導計画に従い避難誘導を実施するほか、自施設	
	の基本的な避	内においては、丸ノ内線東京駅の避難確保・浸水防止計画に従う。	
	難誘導の考え		
	方	2 避難誘導の開始時期	
		・避難誘導の開始は、丸の内地区部会においてあらかじめ定めた「丸の内地区における地下空間に浸水の危険性があると	
		き」を原則とする。ただし、浸水が軽微な場合には、Echika fit 東京(丸ノ内線東京駅)の水防責任者(水防法に基づ	
		く「統括管理者」相当の者)が判断を行うことができる。	
		・千代田区から避難指示が発令された場合、直ちに、地下街等の利用者を避難させるとともに、利用者の安全を確認できた	
		時点で従業員等の避難を速やかに実施する。	

3 避難経路及び避難場所

- ・避難経路および避難場所については、あらかじめ丸の内地区部会で定めたものを前提として策定された、丸ノ内線東京駅 の避難確保・浸水防止計画による。
- ・地下への浸水が発生した場合の避難場所は、原則、地上部の安全が確認された場合は地上とし、それ以外の場合は浸水想 定等を踏まえた安全な地上階を確保する。
- ・地下街等への浸水により甚大な被害が発生した場合、若しくは、地下街等の周辺部で公共交通機関が麻痺するような大規模な水災害が発生した場合は、千代田区地域防災計画に基づき、千代田区等と連携した対応を行う。

4 避難誘導の留意事項

- ・丸の内地区の地上部における地形や地下街等の内部構造を踏まえた避難誘導を行う。
- ・放送設備などを使用して、浸水等の状況を説明するとともに、従業員等の指示に従って避難するよう呼びかける。
- ・エレベーターやエスカレーターなどの電気設備の利用は原則、行わない。
- ・停電時の避難誘導を適切に行うため、避難活動等に従事する者は懐中電灯を所持する。
- ・地下施設利用者がパニックにならないよう、避難誘導をはじめ、各要員は落ち着いて行動する。
- ・高齢者や障がい者など災害時の要配慮者の避難誘導については、施設関係者だけでなく周辺の人に協力を求め迅速に行 う。
- ・避難経路や避難方法などの案内の多言語化を促進し、外国人が安全に利用できる環境整備を行う。